

下諏訪に「新センター」

来年9月
稼働予定 **技術者育成にも注力**

日本ナレッジ

ソフトウエアの検証や開発などを行う日本ナレッジ(本社・東京都は、下諏訪町西四王にある諏訪センターの近くに「新諏訪センター」を建設する。2024年7月の完成、9月からの稼働を予定。ソフトウエア開発の拠点として新卒者を中心に100人以上の雇用を見据え、技術者の人材育成にも力を入れる。

(山本雄太)

新諏訪センターは鉄骨造2 2平方メートル。同社によると、ソフトウエアの検証テストは以前は人に頼ることが多かったが、今はテスト自体の自動化が進められており、新センターは検証のためのソフトウエア開発の重要拠点とする考え。現在の諏訪センター(約30人)

29日に地鎮祭と起工式が開かれ、社員をはじめ、同町や取引企業の関係者らが集まり、無事に工事が終わることを祈願した。同社の藤井洋一社長は「100人以上の雇用が生まれ、下諏訪町にも貢献できと思う。この場所に地に足を着け、長期にわたって人材を育てながら、会社としても発展していきたい」と話した。



日本ナレッジ新諏訪センターの完成イメージ図

は一部の業務を残し、今後5年ほどで本社に次ぐ規模の札幌センター(約100人)を超える人員を目指す。新センター稼働により、若者の諏訪地方への定住促進も期待される。宮坂徹町長は「地域の活性化にもつながる大変ありがたい話。町としてもぜひ支援したい」と感謝の言葉を述べた。